

# Economic Monitor

## エコカー補助金は9月前半で終了?

8月の新車販売は駆け込み需要で急増。エコカー補助金は9月前半で枯渇の可能性あり。7～9月期の個人消費は新車販売と猛暑効果により急増も、10～12月期には深刻な反動減が予想される。

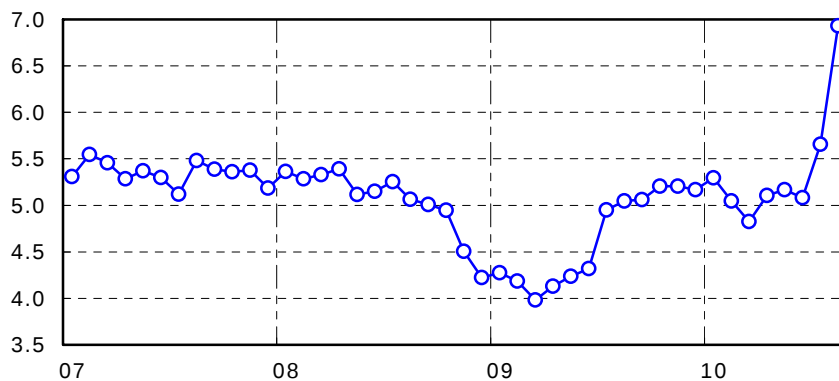
8月の新車販売台数（登録車＋軽自動車）はエコカー補助金適用を狙った駆け込み需要により、前年比37.7%（7月12.9%）と大幅に増加した。（夏期休暇もあり）8月は1年の中でも販売台数が少ない月のため、前年比が押し上げられた部分もある。当社が試算している季節調整値でも8月は前月比22.5%（7月11.3%）と2ヶ月連続で急増しており、補助金目当ての駆け込み需要の強さが窺われる。

次世代自動車振興センター作成の「エコカー補助金の執行状況」によると、8月31日時点の補助金の残額は479億円（予算枠5,837億円に対し申請受理金額5,358億円）まで減少している。（これまでの平均補助額を前提にすると）479億円は37.5万台分に相当し、これは8月31日の申請受理台数32,000台が続くと仮定すれば11.7営業日分で尽きる。つまり、単純計算では9月16日、早ければ9月上旬にもエコカー補助金は受付が終了する可能性がある。補助金の申請は、車両登録の後となるため、補助金適用を狙った新車購入に残された期間はさらに限られることになる。自動車メーカーは、エコカー補助金の早期終了に備えて自社負担による補助も用意しているが、販売現場では多少の混乱が避けられないだろう。

当社季節調整によると年率換算の新車販売台数は7月566万台、8月693万台に達しており、9月に予想される多少の減速を加味しても、7～9月期の販売台数は年率で600万台程度となる可能性が高い。前期比年率の伸びに換算すると9割近い急増である。こうした新車販売の増加は、猛暑効果とも相俟って7～9月期の個人消費を大幅に押し上げると考えられる。

但し、エコカー補助金終了に伴う10～12月期の新車販売の反動減を補うと考えられていた「家電エコポイントの駆け込み需要」は、経済対策に伴う期限再延長により2010年1～3月期にずれ込む見通しとなった。そのため、10～12月期の個人消費は大幅な落ち込みが必至である。また、その後も個人消費は1～3月期に急増、4～6月期に再び反動減というボラタイルな展開が続くと見込まれる。

新車販売台数(百万台、季節調整済、年率)



(出所)自販連、全軽自協